

学園用アンケートの結果について

1、回収率

令和6年度	令和5年度
65% (52/80)	71% (56/79)

2、全体的な傾向

- ・今年度も、回収率上昇に向けて各部署に回収袋の設置をお願いした。
回収率は71%→65%と若干下がったが、3年前の38%からは上昇している。
- ・総計でC+Dが40%以上の否定的評価の項目は1つであったが、部署ごとに見ると、医師・看護師の部署では3項目において否定的評価が50%以上となっている。また、支援課でも3項目で否定的評価が50%以上になっている。また、学校と学園の連絡や情報提供の項目においては、リハビリテーション課と福祉課・事務部においては肯定的評価が高いが、医師・看護師・支援課においては否定的評価が高くなっている。日々の医療面や生活面において、更なる連携の必要があると考えられる。

3、課題のある項目（Zを除き、C+Dが40%以上）

- ・「学校は、子どもの障がいや心身の状態についてよく理解している。」(C+D: 29%→40%)

4 自由記述の特記事項

- ・学校と学園の連携について
- ・児童生徒の情報交換（カンファレンス等）について
- ・各教員の児童生徒への対応について 等

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・回収率の向上に向けての取り組みを継続していく。
- ・アンケートに返答いただいた方にアンケート結果や分析を伝えていく必要がある。

教職員アンケートの結果について

1 回収率

令和6年度	令和5年度
100% (26/26)	100% (25/25)

2 全体的な傾向

- ・昨年度から20%以上肯定的評価が上がった項目
「この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。」
(A+B : 52%→77%)
「児童生徒の教育活動中の健康の配慮や事故・体調の急変に、迅速かつ適切な対応ができている。」
(A+B : 80%→100%)
「校務分掌や委員会の構成・業務内容・仕事量・人員配置は、適切である。」
(A+B : 52%→77%)
「教育活動に必要な教職員が確保され、適切に配置している。」
(A+B : 44%→73%)
- ・昨年度から10%以上肯定的評価が下がった項目
なし
- ・昨年度、課題のある項目に挙がっていた項目の評価が全て上がっていた。
- ・児童の健康に関する項目では、肯定的評価が100%だが、学園アンケートでは課題項目に挙がっている。学校と学園との結果の差について検討する必要がある。

3 課題のある項目 (Zを除き、C+Dが40%以上)

なし

4 自由記述の特記事項

- ・連携について
- ・教員配置について
- ・児童生徒への対応について
- ・研修について 等

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・提出については、手渡しでの提出を行うことで、全員提出ができている。今後も手渡しでの提出を行う。

保護者・児童・生徒アンケートの結果について

<保護者アンケート結果>

1 回収率

令和6年度	令和5年度
85% (11 / 13)	82% (14 / 17)

2 全体的な傾向

- ・肯定的評価が大半を占めている。

3 課題のある項目（Zを除き、C+Dが20%以上）

- ・「学校のホームページを見たことがある。」（「いいえ」が 3/11）

4 自由記述の特記事項

- ・教員に向けての言葉（肯定的な意見であった。）
- ・行事について

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・面会日が限られているため、アンケート期間に余裕を持つ必要がある。行事前に配布することで、保護者が行事で来校する際に回収することができた。
- ・昨年度に引き続き、領域ごとに自由記述欄を設けたが、記述は少なかった。だがZの回答率は下がっているので、引き続き意見を言いやすいアンケートの在り方を検討していく。

<児童生徒アンケート結果>

1 回収率

令和6年度	令和5年度
100% (4/4)	100% (3/3)

2 全体的な傾向

- ・児童生徒4名の実施となった。
- ・全て肯定的評価であったが、いじめについての項目と、災害時の対応についての項目においては、Zの回答が50%になっている。児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、対応する必要がある。

3 課題のある項目（Zを除き、C+Dが20%以上）

- ・なし

4 自由記述の特記事項

- ・学校への希望

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・なし